いわき民報
平市田町八ノ一
電話二八番
振替仙台一四五一番
いわき民報社印刷所

開内正一氏公認

民自黨の役員會今日も續行

先約に公認推薦を決定し、然る後相双二郡の候補者を決定すべしとの動議があり万場拍手裡に開内代議士公認を決定、休憩して懇談會に入つたが、黨の基本方針は當選第一主義で進むことになつているのに、相双二郡で紛擾を表明している者は

苅宿俊風、髙木松吉、佐藤弘毅、宗像孝三の四名を數え擔當者は容易でないと水田縣議から狀況を說明、常選挙區から見ると過般の教育委員選擧で惨敗し、辭退した相馬農業改良佐藤弘毅氏をも第二に擔げられたが、結局二十七日原町に於て第二回の會議を開き、地元の意志を反映させることに決定して散會した

相双二郡
原町で選衝

【別項】民自黨第三區の候補者を決定する相双二郡の懇談會は二十七日午前十一時から原町丸屋旅館に開催、平支部からは開内代議士初め、眼問題橋元三郎氏等十二名出席した

印刷機讓度

平町で現在使用中の四・六八倍印刷機一台譲り度し、希望者は御來社乞う

いわき民報社

地區勞にかけ
運營改善

全遞の態度決る

右について全遞側は趣旨には賛成ながら、運營方法が商店のお先棒かつぎの嫌があり、消費者の面からみては余り好ましいものでないので、一應參加はして置くが、平地區勞働者の參加はにはかり、根本的に運營方法の改善を望みミイラとりがミイラにならぬよう良に消費者大衆のものとし發達するよう監視、助長しそれでも改められぬときは脫退する態度を持している

次回に出席
態度を決す

國鐵高萩委員長談

常日會議に出なかつたのでハツキリせぬが、どうも形式的で消費者のものとしてはうけとれないようだ、次回に出席して運營方法等をみて態度を決したい

地區物價安定推進委員會發會式

平地區物價安定推進委員會發會式は二十五日午後一時より市公會堂日本間に開き關係官公廳、物價監視委員及び價格決定委員、消費者團體、農民組に勞働者團體、業者側團體

第二に擔げられたが、結局二十七日原町に於て第二回の會議を開き、地元の意志を反映させることに決定して散會した

罰金納付命令二百件

平關製では明二十八日十一月來納めを期に二十七日十一月來の食管法違反百件道路交通取締法違反二百件の三百件ざつと三百餘名に對し罰金納付を命じた何とこの總額は三十万円を突破するからたいした物なお明春一月からは罰金臨時措置法によつて刑法、暴力行爲、經濟關係の罰金はざつと五十倍の大幅引上げとなり更に科料も現在最高一千円が、一万円に引上げられることになつたので、カツギ屋連もウカとはかつぎにくいことになるわけ

配給
人造バター

平YMCA・YWCA・YMCA（平YMCAでは二十八日午後五時から市内十五丁目の新教會にてクリスマスを

齊藤氏供託
平地方のトップを切つて

鈴木警夫ほか一名をよんで生活保護施行の容、經過に就き種々懇切丁寧に說明した

少名濱町前代議士齊藤あきら氏は代議士に立候補するため保證金三万円を供託岡平出張所に納付、當地方のトップを切つた

爭議問題
未解決

【既報】二十五日朝會を開いて關係交渉に入つた機業關係は〝基本理念〟を棚上げて具體的要求事項に就き團體したものゝ會社さはが餓死線者金は中央の資金交渉で解決しているので混乱なく、期末賞與（一人平均三千円）は三百円しか出せないとの返答で組合は不滿とし二十六日臨時大會を開き、爭議を協議したが過般の生産關係に對する組合幹部の批判が行はれ今後の要求對策に就いては慎重になつた模様である

鈴木委員長から
檢察廳實情聽取

なお平檢察廳では二十七日午前十時ころ同勞組執行委員長

炭勞脫退
平地區物價委員
結成早くも弱体化を暴露す

平地區物價安定推進委員會は二十五日結成されたが、この席上模範店設定問題について勞働者關係團体側委員中の炭勞東部地方支部の一條與作、菊地勇兩委員は委員會が特別に設定せず、全商店に『丸公で賣る店』との標識をかゝげしめて、丸公販賣をなさしめようとの極めて形式的な方法をとりあげたのに對し強く反對、全委員會に炭勞の參加は一時保留となす旨を說明、會議半にして席を蹴つて退場した、かくて全委員も出帆即座に早くも炭鑛勞働者關係の協力を失うことになつたのみか、今後の活動に消費者の全面的支持協力を求めることが不可能の狀態に陷り今後の成行を注目されている

參加拒否を聲明す
炭勞きようの擴大委員會で

參加を保留した炭勞支部では直に二十六日の執行委員會で一條、菊地兩氏から經過を報告するとゝもに二十七日の擴大委員會でも協議の結果、正式に參加を拒否、同時に大衆的基礎に立たぬ物價安定推進委員會は一切認めないとの聲明書を發表した

市の立會演說會日決る

總選擧は二十八日告示されたが市の立會演說會日割は一月十三、十六の二日間と決定した會場第三小學校

平勞總會
新築決る

國谷工業の購買

平勞働基準監督署では新築舍を建築することになり、去る二十四日關係者で日省指名の國谷工業、堀江工業、鹿島組新井組、大木組の購買入札の結果、國谷工業に落札購買者と決つた、敷地は平市堂前職業安定所の隣りで木造平屋建四十五坪のモダーンなもので來年三月末竣工豫定である

棄權多いか

磐玉川分村開始
賛否投票始まる

小名濱と磐玉川の分村の賛否を決定する投票は雨ふりきる二十七日午前七時より全町大字岡小名、大原、林城、住吉、窪岡の五ケ所で行われた、折からの雨のためか投票者の出足は各所共思く芳しくない模様

市の供米完遂

市の供米は鈴木市長らの努力に依り二十六日割當六千百三十七石を見事完遂した、なお市では近く糧業協組食料事務所その他供米關係代表者を集めて協力を感謝完遂祝賀會を催すことになつた

砂糖

市では二十九日から三日間市内一齊に衛生のお粉糖を配給する、數量は一人半斤づゝ斤當り白糖五十四粗糖四十四の割で豫約小賣店舗から家庭用品購入通帳第別表第D號券第十六號券で購入る

いわき寸言

◆いよ〳〵解語った、金も動った、―と同時に刑務所大賑りのスシ詰めとは

◆物價安定推進委員會に勞働團体から一本きめつけられ、ご无なこと

◆あの頑強安定推進委員會のようにお役人の眼つぶしに終らぬことを祈る

窓ガラス
市内鍛冶町を盜まる

二田鐵製作所

第二工場では窓ガラス十枚、千五百円相當を盜まれているのを二十五日朝發見、市署へ

品
高級化粧

KBKカネボウ專屬
マネキン來店
自十二月二十六日 四日間
至十二月二十九日
店内にて實演致します
平二十二番
電二〇二八
エンドー

平市繁店街のトップ行く
壹町目の連合
歲暮大賣出し
期日 自十二月二十四日至十二月三十一日

開店
お馴染深い
酒言庵
開店しました
どうぞごひいきを……
平市銀座通
電一七一番
酒喜庵

年週五十ヶ創團劇協新
記念地方公演
東京有樂座に於いて
堂々四週間續演の好評を得た
日本演劇の歷史を誇る
新協劇團來る
原作 島崎藤村
脚色 村山知義
演出 ◎出演 薄田研二ほか二十六名
日時 一月二日、三日 昼午後一時 夜六時 二回
場所 平第三小學校講堂舞台大改造
入場料 前売一〇〇円（殘賣中）當日賣一五〇円
主催 日本案内新聞
後援 平市役所 平市連合青年會 平地區勞働組合會議 婦人民主クラブ

十二月二十九日（ヨリ正月二日マデ
二丁目商店會
福引大賣出し
一等ラジオ又ハ訪問着
その他八等マデ空籤ナシ
百圓オ買上ゲ毎に一本進呈

浴槽で溺死
内郷町宮
宮澤ストーブ外交員小西元次郎さん妻（四六）は二十五日市で

通バターを一人百九十五グラムずゝ配給する、價格は一キロで百六十四円二十錢、各食品配給約小賣店舗に家庭用購入通帳D六號券を持參のこと

テンカン女
油田線D六號券を持參のこと
入通帳D六號券を持參のこと

平地區物價安定推進委員會發會式は二十五日午後一時より市公會堂日本間に開き關係官公廳、物價監視委員及び價格決定委員、消費者團體、農民組に勞働者團體、業者側團體

通信報導機關、學識經驗者よりなる四十一名の委員を選任したのち委員長に助役阿部治英氏を推薦、第一回審議として二十八日午後三時より委員の初懇談會開催時半より一般市民の來場を得て懇談會をそれぐく公會堂日本間に開催することになつた、なお商業物店と無關の店頭に『丸公で賣る店』の表示をすることにしたいとの關係の意向は種々論議したのち更に關と交渉し決定すべく保留した、當日の決議文次の通り

現下の經濟事情は徐々に安定に向うが如き情勢が認取せられる。

依つて此際各家庭を通じての經費を助長して一日も早く物價の安定を促進せしむるの趣旨は國民の一大任務であらねばならぬ。

我等はこの大運動に邁進することを期す。

ボロ回收は
極めて不振

十月二十五日から十二月二十日まで行はれた古繊維回收運動の結果がこの程石城地方園務所でまとめた結果、同期一、九一六貫に對し四、八三四貫六百三十匁の二四、九%で去年の九五%よりづゝと成績が振わず具に田人村の三四七貫目樣に對し七貫しか出なかつた

昭和23年6月1日　（第三種郵便物認可）

歳末の表情から拾う

話だけは大きい

だが祟ったりなイワシ不漁

……下……

濱名小ハマ

さえ無關心と云つた形―ましてやサンマが獲れなかつたらそれこそ大變、かつての小名濱景氣などどこへやら勝下一の賣り町になつて仕舞うだらう、磐城港からイワシに見切りをつけて歸港した揚繰船十九統は遲ればせながら今年の網元電氣協定網に轉向したがこれでもやつとその日暮しの維持費を稼ぐ位のもので大し

たことはない　當てにしていたイワシが獲れなかつたことはお百姓さんがお米が全然獲れなかつたも同然、この大不漁が續けばこの秋のサンマの機相はどうか、一回の記錄米に約九千圓もかゝる大きな船主ではその米代にも事缺き四万圓も配給所から借金しているところもあり米代平均一万圓の滯納はざらだとあつては如何に苦しいハマであるか判る、幸いにサンマの大漁で一息ついた船主は良い

◇

こうした環境にあつて商店界や花柳界が一人景氣が良いはずはない、殊にハマの花柳界は一夜の主を求める女たちまでシケイ不漁だ々々だとばかり云つていては口が干上るとばかり考慮したのか網工喜さんを先づサンマがだぶつき始めると干物を作り出したがこれにはお手の物の〝サンマの頬刺〟更に正月に使うカマボコ類は原料魚を獲る底曳船がサンマ漁に轉向して

……下……

ハマではイワシが獲れなかつたので歳末ところがお正月で

選別炭問題漸く一段落

きよう十三名の書類送檢

超過總額三千四百餘万圓

【既報】去る二十一日朝茨城縣磯濱町幾濃海岸北方の海岸に坐礁した江名町甲之作阪部武男氏所有のサンマ船第一北辰丸（四五トン）の救助に同町甲之作から十五隻救助船が出動作業に當つているが、船体が横向きに傾斜しているので作業は困難なため二十六日朝臨上からも臨機艦が出張、機關部のみ取卸すことになつた。

業場からタルキ角物九本を盗み、自宅に運んだことが發覺平市署に檢擧

機關部のみ取りはずす

坐礁の北洲丸救助

【既報】去る二十一日朝茨城縣磯濱町幾濃海岸北方の海岸に坐礁した江名町甲之作阪部武男氏所有のサンマ船第一北辰丸（四五トン）の救助に同町甲之作から十五隻救助船が出動作業に當つているが、船体が横向きに傾斜しているので作業は困難なため二十六日朝臨上からも臨機艦が出張、機關部のみ取卸すことになつた。

歳末寸劇　口は災の因

一、時　二十四日午後三時頃

一、場所　市内十五丁目某飲食店

一、人物　平市署熊谷刑事　市内小太郎町十丁目巻辰之助（四六）ほか飲食店の女房、その他飲店客二、三名

熊谷刑事與の間で女房と雜談中、店には二、三の飲み客盛んにメートルをあげている、土干田巻したゝお醉つた態で歳末がなんだい、ビーくするなョイ俺なんぞな純綿三十反を三百円で買い七千円で賣つてョ、右から左へ六千七百円のボロ儲、人間顏の使いよう一つだョいさゝか得意滿面にグッとカストリのコップをひつかけるこの調子に熊谷刑事の耳がジッときいすくすると刑事ツカ〳〵店へ下り田巻の傍によるやオイおつさん俺にも一口のせねエ！

◇

◇綿織別石炭鑛工業協同組合事務理事市内鹿原町石炭鑛業山岡三男治（四八）は昨年十月以降本年十月まで織別炭計五、二七〇トン、總賣渡金六、六七九、五九〇円で超過金三、九〇九、四〇〇円の不當利得した

◇内郷町綴宮川商松（四七）は五、二三三トン、總賣渡金八、七五二、一一六円で超過金六、九〇九、三〇〇円

◇好間村下好間吉出重幸（四八）は一、四六七トン、總賣渡金一、二八一、三〇〇円で超過金一、五六七、三五〇円

◇同村小田涌鑛消費組合長井出清藏（一天）は三、六〇〇トンを同村織別炭業原田庄一（三八）に計三、四九四、四八四円で賣渡し二、八八三、四三八円の超過金を得た

◇原田は井田から買受けた織別炭のうち三、四八四トンを五、三五七、二一二円で賣却、四、一〇四、八〇〇円の不當を得た

◇市内當ノ前鈴木源七（五一）は五、〇二一トン、總賣渡金七、七〇四、二四二円超過金六、一四三、六〇〇円

◇同一丁目小林定雄（三六）は四五七トン總賣渡金三五七、六九九円、超過金一六、

歳末に十万圓の幸運

影山君道路復興寶籤に當選

赤井村役場勤務影山文夫君（二九）は縣銀行の道路復興寶籤を二枚買つたところその一枚の二十二組一三八五五が當等十万円に當つた旨二十五日夜のラヂオ放送で判明この歳の暮れに幸運が舞込んで大喜び

地方事務所建築場から盗む

二十五日朝四時ごろ市内材木町錦源鐵材店裏採取人夫甲子盛男（二〇）は當の前に建築中の石城地方事務所建築作業場からタルキ角物九本を盗み、自宅に運んだことが發覺平市署に檢擧

機關部のみ取りはずす

坐礁の北洲丸救助

【既報】去る二十一日朝茨城縣磯濱町幾濃海岸北方の海岸に坐礁した江名町甲之作阪部武男氏所有のサンマ船第一北辰丸（四五トン）の救助に同町甲之作から十五隻救助船が出動作業に當つているが、船体が横向きに傾斜しているので作業は困難なため二十六日朝臨上からも臨機艦が出張、機關部のみ取卸すことになつた。

月光城の盗賊

二十八日より世界館で

原作は天保の昔部の夕月姫（寮多川千鶴）の婿として立候補した三郎（アチャコ）松藏（森川信）それに天龍の俠兒吉丸（藤田進）の三名はその寶藏を得るため寶物探しに出るが思ずたけた三郎、松藏らは唯一關姫を得るためインチキ物をさがし吉丸は『戀の一巻』を得るが無一文の身を兒破られた吉丸は追放される、しかしひそかに吉丸をしたう姫の心に怒つた三郎らは遂に暴力をふるう、この危機にかけつけた吉丸は『戀の一巻』をふるいて姫を救い妻とすることが出來た、島耕二が佐伯孝夫、服部良一らと組んで歌と踊りに六團の夢を唯一節笑しく盛こうとしたセミオペレッタ、助演者にも吉丸の家來になる杉狂兒、横尾泥海男の二人のほか上山草人、岸井明、瞳照子等多彩な顏ぶれである

歳末寸劇　口は災の因

一、時　二十四日午後三時頃

一、場所　市内十五丁目某飲食店

一、人物　平市署熊谷刑事　市内小太郎町十丁目巻辰之助（四六）ほか飲食店の女房、その他飲店客二、三名

熊谷刑事與の間で女房と雜談中、店には二、三の飲み客盛んにメートルをあげている、土干田巻したゝお醉つた態で歳末がなんだい、ビーくするなョイ俺なんぞな純綿三十反を三百円で買い七千円で賣つてョ、右から左へ六千七百円のボロ儲、人間顏の使いよう一つだョいさゝか得意滿面にグッとカストリのコップをひつかけるこの調子に熊谷刑事の耳がジッときいすくすると刑事ツカ〳〵店へ下り田巻の傍によるやオイおつさん俺にも一口のせねエ！

歳末に十万圓の幸運

影山君道路復興寶籤に當選

赤井村役場勤務影山文夫君（二九）は縣銀行の道路復興寶籤を二枚買つたところその一枚の二十二組一三八五五が當等十万円に當つた旨二十五日夜のラヂオ放送で判明この歳の暮れに幸運が舞込んで大喜び

地方事務所建築場から盗む

二十五日朝四時ごろ市内材木町錦源鐵材店裏採取人夫甲子盛男（二〇）は當の前に建築中の石城地方事務所建築作業場からタルキ角物九本を盗み、自宅に運んだことが發覺平市署に檢擧

機關部のみ取りはずす

坐礁の北洲丸救助

【既報】去る二十一日朝茨城縣磯濱町幾濃海岸北方の海岸に坐礁した江名町甲之作阪部武男氏所有のサンマ船第一北辰丸（四五トン）の救助に同町甲之作から十五隻救助船が出動作業に當つているが、船体が横向きに傾斜しているので作業は困難なため二十六日朝臨上からも臨機艦が出張、機關部のみ取卸すことになつた。

月光城の盗賊

二十八日より世界館で

原作は天保の昔部の夕月姫（寮多川千鶴）の婿として立候補した三郎（アチャコ）松藏（森川信）それに天龍の俠兒吉丸（藤田進）の三名はその寶藏を得るため寶物探しに出るが思ずたけた三郎、松藏らは唯一關姫を得るためインチキ物をさがし吉丸は『戀の一巻』を得るが無一文の身を兒破られた吉丸は追放される、しかしひそかに吉丸をしたう姫の心に怒つた三郎らは遂に暴力をふるう、この危機にかけつけた吉丸は『戀の一巻』をふるいて姫を救い妻とすることが出來た、島耕二が佐伯孝夫、服部良一らと組んで歌と踊りに六團の夢を唯一節笑しく盛こうとしたセミオペレッタ、助演者にも吉丸の家來になる杉狂兒、横尾泥海男の二人のほか上山草人、岸井明、瞳照子等多彩な顏ぶれである

街の陽氣な
平館　28日
ゴミ〳〵したある下町の住人連雜貨屋錢吉（アチャコ）娘みち子（市木路子）

日本力を
歌舞喜劇陽田
錢吉（四八）は刀渡り約一尺位の日本刀を自宅に隱匿していたこと發覺中地區署に檢擧

姿
東寶　一平
右門江戸
28日

花のお江戸に突如發生した人氣役者の連續殺事件更に、今を盛りと旅行していた『お關しごき』の相次ぐ發覺

夢の世界の美しい物語り
歌と音樂のカクテルの中に
亂舞する美男！美女の群れ
月光城の盜賊
藤田進　喜多川千鶴主演
アチャコ　橫尾泥海男助演
二十八日より　世界館

マーガレット　ウオーレス
オブライエン　ベアリー
より日八十二
聚樂館

期定運幸の陽常
迫る切メ
十萬圓の幸運はどなたに？
早くお申込御
中扱取御にて店支各行銀陽常

新鮮なハムと
ソーセージが入荷しました
皆様の年末年始に是非御利用下さい
その他新鮮なる食料品も取揃えてございます
銀座通り
小西食品店

店名變更お知らせ
新　三圓染工場
舊　京屋染工場
ムクシ
御用の節は電話平六九四番へ（平市南町五十八番地）